

1 普及活動 Educational Activities

1-1 資料の収集及び図書室の公開 Art Libraries and Other Reference Materials

[本館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	208	1,005	2	1,215	29,679
洋図書	83	164	1	248	12,632
国内展覧会カタログ	11	1,508	5	1,524	54,261
国外展覧会カタログ	80	320	1	401	31,209
計	382	2,997	9	3,388	127,781

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	83	3,663
洋雑誌	—	—	—	8	1,039

注)雑誌はタイトル数を計上

②アトライブラリ(本館2階)公開活動

開室日数	226日
公開資料件数	8,902件
入室者数	2,372人
公開請求件数	1,581件

[工芸館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	100	247	29	376	7,977
洋図書	16	31	23	70	1,152
国内展覧会カタログ	0	413	26	439	13,046
国外展覧会カタログ	0	44	0	44	1,639
計	116	735	78	929	23,814

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	27	1,175
洋雑誌	--	--	--	6	125

注) 1. 雑誌はタイトル数を計上

2. 収集点数の合計と収蔵総点数の合計に雑誌タイトル数は含まない

②図書閲覧室(工芸館1階)公開活動

開室日数	142日
公開資料件数	1,231件
入室者数	298人
公開請求件数	194件

1-2 児童生徒を対象とした事業

1-2-1 本館

◆小・中・高等学校への授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成25年6月11日	昭和女子大学附属昭和小学校	108人
平成25年6月18日	文京区立本郷小学校	76人
平成25年8月29日	江戸川区立清新第一小学校	119人
平成25年9月27日	立教女学院小学校	8人
平成25年10月2日	小中一貫教育校お台場学園 港陽小学校	43人
平成25年10月3日	つくば市立竹園東小学校	12人
平成25年10月4日	荒川区立第一日暮里小学校	23人
平成25年10月9日	豊島区立高南小学校	44人
平成25年10月29日	千代田区立九段小学校	55人
平成25年11月29日	杉並区立桃井第二小学校	30人
平成25年12月3日	杉並区立桃井第二小学校	30人
平成25年12月5日	杉並区立桃井第二小学校	30人
平成26年1月21日	吉見町立東第二小学校	16人
平成26年2月12日	東京都市大学付属小学校	80人
平成26年2月12日	八千代市立萱田南小学校	103人
平成26年2月26日	中央区立明石小学校	23人
平成26年2月27日	杉並区立杉並第一小学校	63人
平成26年2月28日	中野区立緑野小学校	78人
平成25年4月16日	弘前市立第二中学校	6人
平成25年5月22日	熊野市立飛鳥中学校	8人
平成25年7月23日	相模原市立鶴野森中学校	21人
平成25年7月23日	杉並区立杉森中学校	18人
平成25年8月1日	江戸川区立松江第一中学校	20人
平成25年8月1日	足立区立第十二中学校	23人
平成25年9月13日	文京区立第十中学校	65人
平成26年1月29日	三郷市立瑞穂中学校	6人
平成26年3月26日	杉並区立杉森中学校	10人
平成26年3月28日	世田谷区立三宿中学校	4人
平成25年7月24日	国土館高等学校	13人
平成25年7月31日	千葉県立津田沼高等学校	20人
平成25年8月28日	埼玉県立大宮北特別支援学校 さいたま西分校	10人
平成25年8月29日	野田中央高等学校	13人
平成25年9月27日	東京都立葛飾野高等学校	7人
平成25年10月4日	埼玉県立越生高等学校	75人
平成25年11月22日	女子美術大学付属高等学校	206人
平成25年12月14日	東京都立世田谷総合高等学校	1人
平成26年1月29日	東京都立大江戸高等学校	150人

◆学校教職員を対象とした研究会

「竹内栖鳳展 近代日本画の巨人」先生のための鑑賞日【特別観覧日】
平成25年9月27日～29日 観覧者数：218人

◆小・中学生向けプログラム

「もうすぐ夏休み！こども美術館」(対象：小学1年生～4年生)
日時：7月13日 午前の部(10時00分～12時00分) 参加者数：29人
 午後の部(14時00分～16時00分) 参加者数：23人
 7月14日 午前の部(10時00分～12時00分) 参加者数：29人
 午後の部(14時00分～16時00分) 参加者数：24人

「夏休みトークラリー」(対象：小学5年生～中学3年生)
日時：8月23日 10時00分～13時00分 参加者数：105人
 8月24日 10時00分～12時00分 参加者数：62人

◆MOMATコレクションセルフガイド

小・中学生を対象として、所蔵作品展に関連したこどもセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

◆「竹内栖鳳展 近代日本画の巨人」こどもセルフガイド

小・中学生を対象として、「竹内栖鳳展 近代日本画の巨人」に関連したセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

◆KIDS★MOMAT2013

夏休み企画として、美術館・工芸館・フィルムセンターの子ども向けプログラム情報を集約したチラシを作成し、都内近県の小・中学校の協力を得て配布し、ホームページに掲載した。

◆小・中・高等学校への授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成25年5月7日	宮城県黒川郡大和町宮床中学校	6人
平成25年7月25日	大田区立徳持小学校	16人
平成25年7月25日	都留第2中学校	15人
平成25年7月26日	大田区立久原小学校	20人
平成25年8月19日	筑波大学附属小学校	20人
平成25年8月21日	千代田区立千代田小学校	10人
平成25年8月23日	東村山第3中学校	20人
平成25年8月28日	埼玉県立大宮北特別支援学校さいたま西分校	11人
平成25年8月29日	千葉県立野田中央高校	14人
平成25年7月20日～9月1日	九段中等教育学校	140人
平成25年10月19日	東京都立工芸高等学校	96人
平成25年12月2日	文京区柳町小学校	40人
平成25年12月12日	清瀬第8小学校	35人
平成25年12月13日	清瀬第8小学校	35人
平成26年2月3日	文京区立本郷小学校	79人
平成26年2月19日	東京コミュニティスクール	11人
平成26年2月21日	品川区立清水台小学校	14人

◆学校教職員の研修会等への協力

平成25年8月20日	千代田区教育会図画工作部会教員	8人
平成26年1月15日	千代田区図画工作研究会教員	10人
平成26年3月14日	墨田区立図画工作研究会教員	12人

◆学校教職員を対象とした研究会

平成25年6月9日 22人

◆小・中学生向けプログラム

ボディ×ファイバー(ワークショップ) 平成25年7月21日、22日 24人
 ギャラリートーク(児童生徒向け) 平成25年8月11日 7人

また、中学生以下(未就学児を含む)を対象として、所蔵作品+展「ボディ³」会期中(平成25年6月25日～9月1日)にワークシート「みんなでつくるボディ図鑑」を配布し、記入されたシートを館内で公開した。

◆未就学児から小学生向けプログラム

親子でタッチ&トーク 平成25年6月26日～8月31日 66人
 こどもタッチ&トーク 平成25年8月4日、5日、25日、26日 60人

◆こどもセルフガイド

小・中学生を対象として、所蔵作品展「ボディ3」会期中(平成25年6月25日～9月1日)に展示作品に関連したこどもセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

<企画展>

◆「プレイバック・アーティスト・トーク」展講演会

日時：平成25年7月6日 14時00分～15時30分
講師：天野一夫(豊田市美術館チーフキュレーター)
聴講者数：23人

日時：平成25年7月20日 14時00分～15時30分
講師：谷新(宇都宮美術館館長)
聴講者数：30人

日時：平成25年7月27日 14時00分～15時30分
講師：建畠哲(京都市立芸術大学学長)
聴講者数：37人

◆「竹内栖鳳展 近代日本画の巨人」講演会

「竹内栖鳳—もうひとつの西洋体験—」
日時：平成25年9月7日 14時00分～15時30分
講師：高階秀爾(大原美術館長、東京大学名誉教授)
聴講者数：112人

「竹内栖鳳の芸術について—女性像にちなんで—」
日時：平成25年9月28日 14時00分～15時30分
講師：平野重光(美術史家)
聴講者数：140人

◆「ジョセフ・クーデルカ展」講演会

日時：平成25年11月16日 14時00分～15時30分
講師：増田 玲(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：80人

「ジョセフ・クーデルカの写真世界」
日時：平成25年12月7日 14時00分～15時30分
講師：飯沢耕太郎(写真評論)
聴講者数：110人

◆「ジョセフ・クーデルカ展」ギャラリートーク

日時：平成25年11月29日 18時00分～19時00分
講師：小林美香(美術課客員研究員)
聴講者数：73人

日時：平成25年12月20日 18時00分～19時00分
講師：増田 玲(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：60人

◆「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」プレ・イベント

日時：平成25年6月23日 13時00分～16時30分
講師：島敦彦(国立国際美術館学芸課長)、榊田倫広(美術課研究員)、中井康之(国立国際美術館主任研究員)、飯田高誉(青森県立美術館美術統括監)、池田亨(青森県立美術館学芸主幹)
聴講者数：128人

◆「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」

記録映画「脱皮の記念碑 工藤哲巳の記録」上映会
日時：平成26年2月8日 14時00分～14時30分
聴講者数：8人

◆「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」講演会

日時：平成26年2月22日 14時00分～15時30分
講師：堀浩哉(美術家、多摩美術大学教授)
記録映画「脱皮の記念碑 工藤哲巳の記録」上映つき
聴講者数：74人

「工藤哲巳—自動生産の工学」

日時：平成26年3月1日 14時00分～15時30分
講師：沢山遼(美術批評)
聴講者数：38人

「工藤哲巳と草間彌生」

日時：平成26年3月15日 14時00分～15時30分
講師：中嶋泉(美術史家、明治学院大学研究員)
聴講者数：62人

◆「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」ギャラリートーク

日時：平成26年2月14日 18時00分～19時00分
講師：榊田倫広(美術課研究員、本展担当者)
聴講者数：16人

日時：平成26年3月14日 18時00分～19時00分
講師：榊田倫広(美術課研究員、本展担当者)
聴講者数：30人

<所蔵作品展>

◆キュレーター・トーク

「都市の無意識」
日時：平成25年6月22日 11時00分～12時00分
講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)
聴講者数：35人

日時：平成25年7月26日 18時00分～19時00分
講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)
聴講者数：28人

「戦争と美術：時代とともに変わる見方」
日時：平成25年9月13日 18時00分～19時00分
講師：大谷省吾(企画課主任研究員)
聴講者数：30人

「日本画の京都と東京」
日時：平成25年9月20日 18時00分～19時00分
講師：鶴見香織(美術課主任研究員)
聴講者数：96人

「現代美術と写真」
日時：平成25年12月6日 18時00分～19時00分
講師：松本透(副館長)
聴講者数：18人

「ゲルハルト・リヒターと抽象絵画」
日時：平成25年12月13日 18時00分～19時00分
講師：中林和雄(企画課長)
聴講者数：15人

「泥とジェリー」
日時：平成26年3月8日 15時30分～16時30分
講師：蔵屋美香(美術課長)
聴講者数：33人

日時：平成26年3月28日 18時00分～19時00分
講師：蔵屋美香(美術課長)
聴講者数：60人

◆トーク・イベント

「特集『何かがおこってる：1907-1945の軌跡』」
日時：平成26年2月28日 18時00分～19時00分
講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)、大木優子(美術課補佐員)
聴講者数：19人

「特集『何かがおこってる：1907-1945の軌跡』」
日時：平成26年3月7日 18時00分～19時00分
講師：蔵屋美香(美術課長)、大木優子(美術課補佐員)
聴講者数：17人

◆研究員による所蔵品ガイド

日時：平成25年6月8日 14時00分～15時00分
講師：鶴見香織(美術課主任研究員)
聴講者数：38人

日時：平成25年8月10日 14時00分～15時00分
講師：榊田倫広(美術課研究員)
聴講者数：39人

「グラフィックと広告」
日時：平成25年10月26日 14時00分～15時00分

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)
聴講者数：35人

「記録・表現・子供—写真作品をめぐるギャラリーガイド」
日時：平成26年1月25日 14時00分～15時00分
講師：増田玲(美術課主任研究員)
聴講者数：32人

◆アーティスト・トーク

「泥とジェリー」
日時：平成26年2月21日 18時00分～19時00分
講師：岡崎乾二郎(出品作家)
聴講者数：102人

<企画展>

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展

公開コロキウム「社会システムの中のオリンピックとくデザイン」

日時：平成25年4月21日 13時00分～17時00分

講師：佐藤道信、長田謙一、ジリー・トラガヌ、暮沢剛巳、吉本光宏、関雅宏、木田拓也

聴講者数：65人

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展座談会「東京オリンピックのデザイン証言者」

日時：平成25年5月12日 14時00分～16時00分

講師：勝井三雄、小西啓介、道吉剛

聴講者数：71人

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展ギャラリートーク

日時：平成25年4月14日 15時00分～16時00分

講師：内藤陽介

聴講者数：12人

日時：平成25年5月19日 15時00分～16時00分

講師：鎮目良文

聴講者数：19人

◆「クローズアップ工芸」ギャラリートーク

日時：平成25年10月20日 14時00分～15時00分

講師：木田拓也

聴講者数：10人

日時：平成25年11月23日 14時00分～15時00分

講師：唐澤昌宏

聴講者数：22人

◆「現代のプロダクトデザイン—Made in Japanを生む」展ギャラリートーク

日時：平成25年12月21日 15時00分～16時00分

講師：諸山正則

聴講者数：34人

◆「現代のプロダクトデザイン—Made in Japanを生む」展アーティストトーク

日時：平成25年11月2日15時00分～16時00分

講師：城谷耕生

聴講者数：16人

日時：平成25年11月23日 15時00分～16時00分

講師：大谷将典
聴講者数：32人

日時：平成25年11月30日 15時00分～16時00分
講師：小泉誠
聴講者数：37人

日時：平成25年12月24日 15時00分～16時00分
講師：須藤玲子
聴講者数：53人

◆「日本伝統工芸展60回記念 工芸からKŌGEIへ」展シンポジウム

日時：平成26年1月12日 15時00分～16時00分
パネリスト：田口義明、藤沼昇、前田昭博
司会進行：唐澤昌宏
聴講者数：121人

◆「日本伝統工芸展60回記念 工芸からKŌGEIへ」展ギャラリートーク

日時：平成25年12月22日 14時00分～15時00分
講師：唐澤昌宏
聴講者数：33人

◆「日本伝統工芸展60回記念 工芸からKŌGEIへ」展アーティストトーク

日時：平成26年1月5日 14時00分～15時00分
講師：小宮康正
聴講者数：79人

日時：平成26年1月13日 14時00分～15時00分
講師：神農巖
聴講者数：71人

日時：平成26年2月2日 14時00分～15時00分
講師：石田知史
聴講者数：58人

日時：平成26年2月9日 14時00分～15時00分
講師：武関翠篁
聴講者数：48人

◆所蔵作品展「ボディ³」ギャラリー・トーク

日時：平成25年7月28日 14時00分～15時00分
講師：唐澤昌宏
聴講者数：10人

日時：平成25年8月11日 14時00分～15時00分
講師：今井陽子
聴講者数：7人

◆所蔵作品展「花」ギャラリー・トーク

日時：平成26年3月23日 14時00分～15時00分

講師：木田拓也

聴講者数：25人

◆インターンシップ

参加者数：6名

研修内容：コレクション・企画展・美術館教育・図書資料の4分野における基本的な日常業務の補助、および研修者の目的に沿った個別事業への参加。

◆大学の授業等への協力（ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入）

平成25年4月19日	千葉大学文学部	9人
平成25年4月20日	武蔵大学	18人
平成25年4月30日	早稲田大学	25人
平成25年5月8日	共立女子大学	35人
平成25年5月11日	埼玉大学	15人
平成25年5月15日	法政大学	15人
平成25年5月16日	多摩美術大学	20人
平成25年5月17日	早稲田大学	18人
平成25年5月19日	早稲田大学	20人
平成25年5月23日	東京工業大学	60人
平成25年6月12日	共立女子大学	34人
平成25年7月4日	日本体育大学 女子短期大学部	5人
平成25年7月9日	東京造形大学	15人
平成25年7月19日	共立女子大学	35人
平成25年7月25日	多摩美術大学	21人
平成25年10月6日	実践女子大学	35人
平成25年10月6日	日本女子大学	10人
平成25年11月6日	帝京科学大学	14人
平成25年12月14日	跡見学園女子大学	11人
平成25年12月17日	東京造形大学	10人
平成26年1月9日	御茶ノ水美術専門学校	18人

◆生涯学習施設等への協力

平成25年4月3日	進藤造形絵画教室	6人
平成25年4月4日	進藤造形絵画教室	4人
平成25年7月26日	BunBu学院	10人
平成25年9月28日	埼玉県立近代美術館ガイドボランティア	25人
平成25年9月28日	伝統芸能の会	13人
平成25年10月13日	北広島町教育委員会	3人
平成25年10月25日	船橋マスター学院	31人
平成26年2月13日	麴町婦人会	32人
平成26年2月13日	六栄会	15人
平成26年3月12日	かわさき市民フロンティア	20人

◆インターンシップ

参加者数：4人

研修内容：展覧会の準備（カタログ執筆・展示撤収作業含む）、作品貸借立会、所蔵作品の状態管理、広報・普及活動等、学芸業務全般の補助

◆博物館実習

受入期間：平成25年8月1日～8月6日(5日間)

開催場所：工芸館

参加者数：6名

担当した研究員数：4名

実習内容：業務の状況や工芸作品について学とともに、作品・資料の取り扱いを実習した。

◆大学の授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成25年7月10日 青山学院大学 10人

平成25年7月24日 共立女子大学 36人

平成25年10月6日 実践女子大学 37人

平成25年11月3日 東京造形大学 44人

◆生涯学習施設等への協力

平成25年4月18日 蕨学園22期生 25人

平成25年4月24日 日本チャーター協会 15人

平成25年6月27日 NHK学園市川校 11人

平成25年7月12日 三重県博サポートスタッフ 11人

平成25年7月24日 高島屋セミナー 22人

平成25年11月13日 都立三田校同窓会ワカバ会 10人

平成26年1月14日 美しいキモノセミナー 60人

平成26年2月10日 ポーラ文化財団(MOVIE&TOUCH&TALK) 50人

1-5 ボランティア

1-5-1 本館

本館ガイドスタッフのフォローアップ研修では、5月に一條彰子(企画課主任研究員)より「ドイツと北米、美術教育の現場から」、1月に大高幸氏(放送大学講師)より「米国の美術館でのギャラリートークについて」の講演を行い、海外の教育普及事業について理解を深めた。また1月の研修は、ガイドスタッフ有志による研修会を反映し講師とガイドスタッフとの協議の時間を設けた。

夏の小中学生向けプログラムKIDS★MOMAT2014では、ガイドスタッフが「もうすぐ夏休み！こども美術館」、「夏休みトークラリー」のスタッフを担当した。

ボランティアの登録人数 40人

◆MOMATガイドスタッフによる所蔵作品ガイド

平成25年6月4日～8月4日	53回／286人
平成25年8月11日～10月14日	56回／1,051人
平成25年10月22日～平成26年1月13日	68回／417人
平成26年1月21日～4月6日	67回／373人

◆ハイライト・ツアー

平成25年4月7日	19人
平成25年7月7日	37人
平成25年8月4日	50人
平成25年9月1日	35人
平成25年10月6日	60人
平成25年11月3日	38人
平成25年12月1日	30人
平成26年1月5日	30人
平成26年2月2日	35人
平成26年3月2日	18人

技術の向上を目的として、登録中のガイドスタッフ各人対象に、ガイド内容の現状確認とディスカッションを個別に行った。また毎月実施しているフォローアップ研修では、ガイドの現況を元に、より充実した工芸鑑賞の体験を来館者に提供できるよう、ディスカッションと実地研修を重ねた。主な活動内容は、展覧会会期中水・土曜日に実施しているタッチ&トーク(下記参照)のほか、夏季のこどもタッチ&トークの企画・運営、小学校から大学を対象とする授業や生涯学習施設等への協力、またギャラリー・トークやアーティスト・トークの雲ね補助などを行った。

ボランティアの登録人数 32人

◆タッチ&トーク

「花咲く工芸」展 10回／88人

「ボディ³」展 20回／184人

「クローズアップ工芸」展 25回／187人

「工芸からKÔGEIへ」展 17回／206人

「花」展 4回／59人

小・中学校の教員、美術館の学芸員、教育委員会の指導主事が一堂に会し、美術の鑑賞力を高めるための講演、ギャラリートーク分析、グループワーク及び発表、ワールドカフェ（全体討論）、アートカード・ワークショップ等が行われた。なお、昨年を引き続いて「平成25年度教員免許状更新講習」を実施した。

主 催：独立行政法人国立美術館

共 催：文部科学省

会 場：東京国立近代美術館、国立新美術館

日 時：平成25年7月29日(月)～7月30日(火)

参加者数：99名

(小学校教諭26名、中学校教諭36名、指導主事8名、学芸員28名、
養護学校教諭1名)

教員免許状更新講習：受講者10名

修了者10名

2 刊行物 Publications

2-1 企画展覧会カタログ

2-1-1 本館



プレイバック・アーティスト・トーク

15×11cm

55p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2013



竹内栖鳳展 近代日本画の巨人

29×23cm

214, xvip

編著者：中村麗子、吉中充代、後藤結美子、田中純一郎

出版者：日本経済新聞社、NHK、NHKプロモーション

出版年：©2013

ジョセフ・クーデルカ展

26×25cm

191p

編著者：ジョセフ・クーデルカ、増田玲、小林美香、三輪健仁

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.11



あなたの肖像 工藤哲巳回顧展

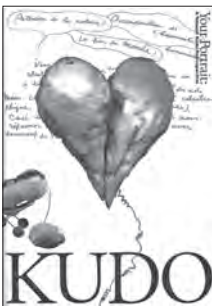
26×19cm

625p

編著者：島敦彦、中井康之、榊田倫広、大谷省吾、飯田高誉、池田亨、岡部るい、福元崇志、宮田有香

出版者：国立国際美術館、ダイキン工業振興財団

出版年：2013.11





クローズアップ工芸

25.6×18.7cm

64p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.9

現代のプロダクトデザイン Made in Japanを生む

22.5×19.0cm

56p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.11



日本伝統工芸展60回記念 工芸からKŌGEIへ

25.0×19.4cm

156p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.12



2-2 目録・ガイド等

2-2-1 本館

都市の無意識

23×11cm

13p

編著者：鈴木勝雄

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2013

泥とジェリー

30×41cm (折りたたみ23×11cm)

1枚

編著者：葺屋美香

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2014

MOMATを知りつくそう! 美術館活用ガイド

15×70cm (折りたたみ15×13cm)

1枚

出版者：[東京国立近代美術館]

出版年：[2013]

竹内栖鳳展 近代日本画の巨人 こどもセルフガイド

42×30cm (折りたたみ19×15cm)

1枚

編著者：細谷美宇

出版者：[東京国立近代美術館]

出版年：[2013]





ボディ³
ボディ³
ボディ³

ボディ³（「ボディ³」展セルフガイド）

15×10cm

8p

編著者：今井陽子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2013

みんなで作るボディ図鑑（「ボディ³」展ワークシート）

21×14.8cm

2p

編著者：今井陽子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2013



東京国立近代美術館研究紀要 第18号
24×19cm
129p
出版者：東京国立近代美術館
出版年：2014.3



平成24年度 東京国立近代美術館活動報告
26×19cm
257p
出版者：東京国立近代美術館
出版年：2014.2



平成25年度 東京国立近代美術館概要
30×21cm
28p



2-4 その他の刊行物

2-4-1 本館



ドキュメント | 14の夕べ || パフォーマンスのあとさき、残りのものたちは身振りを続ける：2012年8月26日—9月8日に東京国立近代美術館にて開催されたイベント「14の夕べ」の記録集：美術、音楽、演劇、ダンス、朗読における、いわゆる「パフォーマンス」に焦点を絞った「14の夕べ」の出演者は、第1の夕べ 東京デスロック、第2の夕べ 福永信／古川日出男／谷川俊太郎、第3の夕べ 奥村雄樹、第4の夕べ No Collective、第5の夕べ 手塚夏子、第6の夕べ 高嶋晋一、第7の夕べ 小杉武久、第8の夕べ 大友良英 one day ensembles、第9の夕べ 神村恵カンパニー、第10の夕べ core of bells、第11の夕べ 小林耕平、第12の夕べ 村川拓也、第13の夕べ 橋本聡、第14の夕べ 一柳慧であり、第1から第14の夕べに関わる、上演開始までに作成された台本・指示書・テキスト・楽譜などの「スコア」、メモ、ドローイング、メールのやり取り、告知用印刷物、当日配布されたプログラムなどの事前資料、および記録写真、記録音源の書き起こし、上演終了後に作成された「スコア」、インタビュー、座談会の書き起こし、出演者によるテキスト、会場図面、上演に関わる各種データ、レビュー、論考などの事後資料が、時系列順に収録されており、編集は東京国立近代美術館による。

19×13cm

377p + プログラム20枚

編著者：三輪健仁

出版者：青幻舎

出版年：2013.11

「夏の家」についての覚書

21×21cm

127p

編著者：柴原聡子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2013

2-4-2 工芸館

こどもとおとなの工芸図鑑 ボディブック&ノート

17.5×15.5cm

54p (2分冊)

編著者：今井陽子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：©2013



2-5 美術館ニュース『現代の眼』



30×21cm / 15p
編集：東京国立近代美術館、美術出版社
出版：東京国立近代美術館

No.599 2013年4-5月号
特集1：フランシス・ベーコンについて
出版年：2013.4



No.600 2013年6-7月号
特集：創刊600号記念
出版年：2013.6



No.601 2013年8-9月号
特集：竹内栖鳳展 近代日本画の巨人
出版年：2013.8

No.602 2013年10-11月号
特集：クローズアップエ芸
出版年：2013.10



No.603 2013年12月-2014年1月号
特集：ジョセフ・クーデルカ展
出版年：2013.12



No.604 2014年2-3月号
特集：あなたの肖像 工藤哲巳回顧展
出版年：2014.2



3 広報

3-1 広報

「平成25年度展覧会案内」(ミュージアム・カレンダー)を和英で作成したほか、展覧会ごとにプレスリリースを作成して報道各機関に送付、展覧会前日に記者内見会を開催した。展覧会ごとにポスター、チラシを作成、送付し、JR、地下鉄、京王線等の主要駅にポスターを掲出した。

インターネットを介した広報にも力を注ぎ、「プレイバック・アーティスト・トーク」展ではYouTubeを用いた動画広告を作成し、画家のトークの一部を紹介した。「竹内栖鳳展」、「あなたの肖像—工藤哲巳回顧展」では特設サイトを作成し、また工藤哲巳についてはオリジナルチョコレートを作成してSNSと連動させたプレゼント企画を試みた。

さらに「北の丸公園文化ゾーンマップ」の作成や「ぐるっとパス」への参加などを周辺機関と協力して広報に努めた。

本館・工芸館の所蔵作品展やフィルムセンターの展示室を年間を通じて観覧できるMOMATパスポートについては、ホームページ等により広報を行い、その普及に努めた。

本館の所蔵作品展については、『読売新聞』都内版に毎月1回「近代美術の眼」を連載し、幅広く所蔵作品を紹介するようにした。

工芸館では特に、新しい展示方法を試みるアプローチや展覧会内容での協同(凸版印刷株式会社、長野大学、株式会社エイサー、東京国立博物館)を背景に、SNSにおいて、自館だけに留まらない情報を積極的に発信し、相乗効果を狙った。

3-2 美術館情報システムによる普及・広報

平成19年度より稼働のコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)を用いて、ホームページ・コンテンツの追加更新を迅速化しているが、サイト構成およびデザイン等において一層の改良を図るべく大規模リニューアルを実施するため、ホームページ全体の刷新へ向けて全館的に見直し、全面改修へ向けての仕様書を策定した。改修自体は平成26年度に実施の予定。

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、許諾を得た工芸[陶磁]の作品611点について画像を新規登録した。

工芸についての著作権者情報の整備を引き続き行い、工芸[漆工・染織]の著作権許諾申請手続を開始した。

平成23年度に着手した東京国立近代美術館所蔵作品管理システムならびに独立行政法人国立美術館総合目録のデータ登録更新とインターフェースの改良を、他国立美術館と連携して実装させ、今年度は各館ローカルシステムと総合目録とのデータ連携を改善した。

平成23年度に欧米主要美術図書館横断検索システムであるartlibraries.net(http://artlibraries.net/index_en.php)と国立美術館の図書検索システム(東京国立近代美術館および国立西洋美術館)の連携可能性について、国立情報学研究所と連携して始めた受託研究の成果により、artlibraries.netへの参加を実現させ、全国美術館会議の会報および『東京国立近代美術館研究紀要』18号などにおいて国内広報に尽くした。

(1) ホームページのアクセス件数

12,658,565件(本館・工芸館・フィルムセンター含む)

- (2) インターネットによる調査研究成果の公表
『研究紀要』第13号(2009年)より、収録論文全文のホームページへの掲載を開始した。また、『研究紀要』『現代の眼』および自館ならびに国立西洋美術館開催展覧会カタログなどの目次情報をホームページにおいて公開するとともに、図書検索システム(OPAC)からもこれら目次検索を従来通り可能にしている。『東京国立近代美術館60年史』において附録CD-ROMに収めたPDFファイル「本館・工芸館企画展出品作家総索引」をデータベース化して、検索システムとしてホームページに公開し、あわせて『東京国立近代美術館研究紀要』18号において概要を報告した。
- (3) インターネットを用いた広報
- ①メールマガジン
毎月計16号を発行した。
- ②美術館情報システムによる広報活動
独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、工芸[陶磁]の作品611点について画像を新規登録した。工芸についての著作権者情報の整備を引き続き行い、工芸[漆工・染織]の著作権許諾申請手続を開始した。
- ③特徴的な取り組み
平成24年度に60周年事業の広報の一環で始めたTwitterを継続し、館のイベントその他の情報を発信した。また「プレイバック・アーティスト・トーク」展においてYou Tubeを用いた動画広告を作成し、画家のトークの一部を紹介した。「あなたの肖像－工藤哲巳回顧展」においては、SNSと連動させるプレゼント企画を試み、インターネット上での情報拡散を図った。